

藤和けんこう通信

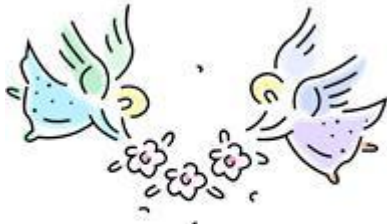


2013年2月号 VOL.28

患者さん・家族の想い・・・

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）

小田急相模原駅徒歩6分 神奈川県相模原市南区南台4-13-23 TEL 042-855-0420



技術・知識・人の研磨の時代

2000年に介護保険が施行されて13年がたち、介護事業者・施設がとても充実してきていると感じます。訪問の途中でたくさんの送迎車や、新規オープンのご案内紙をよく見かけます。それと同様、訪問マッサージを行う会社も増えてきています。サービスを提供する会社が増える事で、患者さん側にとっては選ぶ選択肢が増えて、とても良い事だと思います。それにより患者さん側の姿勢も、以前と比べて変わってきていると感じます。施術の価値、そして施術者の質・人柄をしっかりと見極めようとする姿勢を感じます。私たち訪問するスタッフの質が問われているのだと思います。本当に必要とされる施術・人でなければ淘汰され残ってはいけない時代になっています。この患者さん・ご家族の想い受け止めて、しっかりと結果を残す事ができるよう、スタッフ全員これからも技術・知識、そして人の研磨に努めていきます。 代表 須藤新

同意書Q&A

保険適応には必ず必要になる同意書について

Q、何科の先生に書いてもらうのが良いですか？

A、特に何科の先生に書いてもらわなければならないという事はありません。基本的には患者様自身の状態が一番分かっている先生がベストです。

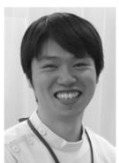
Q、代理で同意書を取りに行ってもらえますか？

A、はい、患者様に代わって当院が代行して依頼しに行くことは可能です。ただ、病院によっては本人又は家族の方でないといけない場合もあります。

Q、かかりつけの病院がありません。どこかクリニックを紹介してもらえますか？

A、はい、ご紹介いたします。どうぞご相談下さい。

ベテランから女性まで幅広いスタッフが揃っています！！



須藤 新



石黒 一星



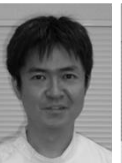
添田 真理子



板垣 鋭司



榎本多佳子



松本勝則



牧口隆一



河内 宣夫



石井 旭



近藤マチ子



若井清美

藤和マッサージ ニュース

1月14日(月曜)→

大雪となり、積雪10センチオーバーで道路は大渋滞。午後からの訪問治療はお休みさせて頂きました。お休みさせて頂いた患者様にご迷惑をお掛けしました。



←1月13日(日曜)

院内の待合室の床が抜けそうに、ぼこぼこしているのを発見、すぐさま業者さんに連絡、床の総張り替えになりました。おかげで、待合室の床は綺麗新品になりました。

昨年12月下旬→

大掃除をしました。大変綺麗になりました。床の雑巾がけも、マッサージと同じように体重をのせてしっかり圧をかけて磨く事が大事です。お昼にはとんかつを食べました。



←昨年12月27日(木曜)

野球チームの中学生たちに、体のバランスをチェック、投球フォームをビデオ録画してのフォームチェックなどを行い、日頃のケアの重要性を説きました。

1月はインフルエンザにかかりお休みされた患者様が数名いらっしゃいました。私がいる床屋さんのマスターも1月上旬に、朝から何か調子が悪いと思ったら高熱が！病院にかけこみ、鼻に面棒を突っ込まれインフルエンザと判明。5日間休養したとのことでした。ぜひ皆様にも気をつけて頂きたいです。(石黒)

○●○藤和けんこう通信 発行目的○●○

- ①皆様に医療・介護にまつわる有意義な情報を発信するため
- ②訪問マッサージ・はりきゅうをご希望の方がいましたらご利用・ご紹介頂くため
- ③当院の事を皆様に十分知ってもらうため

◎医療・介護関連ニュース◎



最もインフルエンザに感染しやすい場所は？

(2012年12月14日 @DIME)

レキットベンキーザー・ジャパン株式会社の薬用せっけんの「ミューズ」はインフルエンザを発症した20～50代の男女400人を対象に、インフルエンザと自宅待機期間の過ごし方に関する意識調査を実施した。

■自宅待機期間を守らず外出してしまう人は全体の30%

通常インフルエンザの診断を受けた場合、症状が落ち着いてからもウイルスが体内に潜伏している可能性が高く、周りの方につつかねないため、熱が下がってから2日あるいは症状がはじまった日の翌日から7日目までは出来るだけ外出しないという指針がある（厚生労働省「インフルエンザQ&A」より）。しかし、その自宅待機期間中に「外出したことがある」と答えた人が全体の30.5%にも及ぶことが判明した。年代別で見ると、20代40%、30代34%、40代31%となっており、若い世代は特に待機期間に外出してしまう傾向があることが分かった。

■スーパーやコンビニ、バスや電車の中などで、知らず知らずのうちにウイルスと接触している危険

外出時の行き先を尋ねたところ、最も多かったのは「スーパー」55.7%、次に「コンビニ」43.4%となった。会計時の店員との接触はもちろん、居合わせた客にも、商品を手に取ったり、咳やくしゃみをしたりと、当然ながらウイルス感染の危険を与えることになる。また「会社などの仕事」も32%と多く、会社で同じ空間にいることになる同僚や、ミーティングを行った取引先などにウイルスが拡散されていると予想される。更に、それらの場所に行く交通手段として、「バス」が22.1%、「電車」が19.7%と、公共交通機関を利用している人が多いことが明らかになった。移動中は密室空間であることに加え、たくさんの人の流れがあるため、インフルエンザウイルスがばら撒かれてしまう危険性は避けられない。

ピロリ除菌、胃炎も保険適用へ 胃がん予防に道

(2013年2月3日 朝日新聞)

胃がんなどの原因になる細菌「ヘリコバクター・ピロリ」の感染による胃炎について、除菌治療が、保険適用として認められる見通しになった。これまでは胃潰瘍（かいよう）など症状が進んだ病気に限られていたが、より早い段階で治療が受けられるようになり、将来の胃がん予防につながる可能性がある。ヘリコバクター・ピロリは胃の粘膜にいる細菌。感染者は国内で約3500万人で、50歳以上の7～8割が感染しているとみられる。子どもの頃に感染すると、成人になっても胃の中で生き続ける。現在、公的医療保険で除菌の対象になる病気は胃潰瘍、十二指腸潰瘍など。これまで胃炎の除菌は保険の対象外なので自費診療になり、1回につき、数万円の自己負担が必要だった。

手足不自由でも1500メートル泳げる

(2013年1月23日 読売新聞)

難病の中でも発症がまれな「特定疾患」の患者は、孤立しがちで自殺まで思い悩むケースも少なくない。その一つ、手足が自由に動かなくなる「慢性炎症性脱髄性多発神経炎」（C I D P）を患う岡山市南区、内田等さん（54）は昨年12月、38人で計100キロを泳ぐ「100キロスイムマラソン」に参加し、一人で1500メートルを泳ぎ切った。確立された治療法がなく、不安にさいなまれながらも仲間や家族の支えに助けられたという内田さんは、「自分が精いっぱい生きている姿を見てもらい、同じ難病に苦しむ人に希望を持ってほしい」と意欲を見せている。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

TOWA
藤和

藤和マッサージ TEL 042(855)0420

〒252-0314相模原市南区南台4-13-23（小田急相模原駅徒歩6分）